

# 黒川 すみれ (くろかわ) 講師

学部/学科	人間社会学部 公共社会学科
大学院/専攻	

研究分野	家族社会学、労働社会学、計量社会学
メッセージ	大学 4 年間は人生の中で貴重な時間になります。さまざまな考え方を学び、友人と知り合い、失敗も成功もたくさん経験して、充実した大学生活をおくってください。
研究テーマ、キーワード	女性が家族役割を担いながら、どのように職業キャリアを形成していくのかを研究しています。結婚、出産、就業など、人生におけるさまざまな出来事によって生じる地位や役割の移行に焦点をあてるライフコース研究です。マクロな社会変動とミクロな個人生活史との関連に着目した、社会学的研究に取り組んでいます。
代表的著書、論文等	<著書 (分担執筆) > 黒川すみれ, 2023, 「コロナショック後の所得変動」樋口美雄 / 労働政策研究・研修機構(編)『検証・コロナ期日本の働き方—意識・行動変化と雇用政策の課題』慶應義塾大学出版会, 249-266. 黒川すみれ, 2023, 「職場や働き方をめぐる個別労働紛争の男女比較分析」佐藤岩夫・阿部昌樹・太田勝造(編)『現代日本の紛争過程と司法政策—民事紛争全国調査 2016-2020—』東京大学出版会, 430-446. 黒川すみれ, 2021, 「コロナショックの所得格差拡大への影響—社会階層の視点から」樋口美雄 / 労働政策研究・研修機構(編)『コロナ禍における個人と企業の変容—働き方・生活・格差と支援策』慶應義塾大学出版会, 261-280.
過去の主要業績	過去の主要業績 黒川すみれ, 2019, 「女性の職業キャリアと階層帰属意識」『戦後日本の社会意識の変容過程についての計量社会学的研究成果報告書』東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター, 90-103. 黒川すみれ, 2016, 「社会不公平感の形成における収入比較メカニズム—相対的剥奪指数を用いた分析から」『年報社会学論集』29: 68-79.
所属学会, その他の研究活動等	日本社会学会、日本家族社会学会、数理社会学会、International Sociological Association RC28
担当授業	家族社会学 A【2 単位 1 年前期】 家族社会学 B【2 単位 1 年後期】 公共性の社会学【2 単位 1 年前期】 福祉社会学【2 単位 3 年前期】 社会調査実習 I【2 単位 2 年前期】 社会調査実習 II【2 単位 2 年後期】 公共社会学研究 I【2 単位 3 年前期】 公共社会学研究 II【2 単位 3 年後期】 社会学の分析法 B【2 単位 3 年後期】 卒業論文【6 単位 4 年通年】
経歴等	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程修了。博士 (社会科学)。東京大学社会科学研究所特任助教を経て、2022 年 4 月に本学着任。